

◆幼児とパパママで楽しむ自然あそび

幼児と親を対象としたプログラムです。身近な自然の中、親子でのんびり過ごして遊びましょう。
日 時：7月22日(日) 10:00~12:00
対 象：4~6歳の未就学児と保護者 定員：20名
参加費：100円(保険代)
要申込：現在、受付中です

◆親子はじめての自然観察
~みどり森 夜の生きもの観察会~

夜のみどり森を探検して、セミの羽化やカブトムシを観察します。(お弁当持参)
日 時：7月28日(土) 17:00~20:00
対 象：小学生と保護者 定員：20名
参加費：100円(保険代)
要申込：現在、受付中です。

◆わくわく子ども里山キャンプ

みどり森でわくわくときどきの1泊2日。友達と協力して、ご飯を作ったり、自然体験をします。
日 時：8月1・2日(水・木) 10:00~翌12:00
対 象：小学3~6年生 定員：20名
参加費：8000円(保険代・材料費・食事代等)
要申込：現在、受付中です。

★イベントのお問合わせ・申し込み★

電話(TEL 04-2934-4396)で博物館までご連絡ください。また、公式ホームページからお申し込みできます。イベント内容等の詳細は、お気軽にお問合せください。みなさんの申込みをお待ちしております!

◆食育体験教室「畑で野菜を育ててみよう」

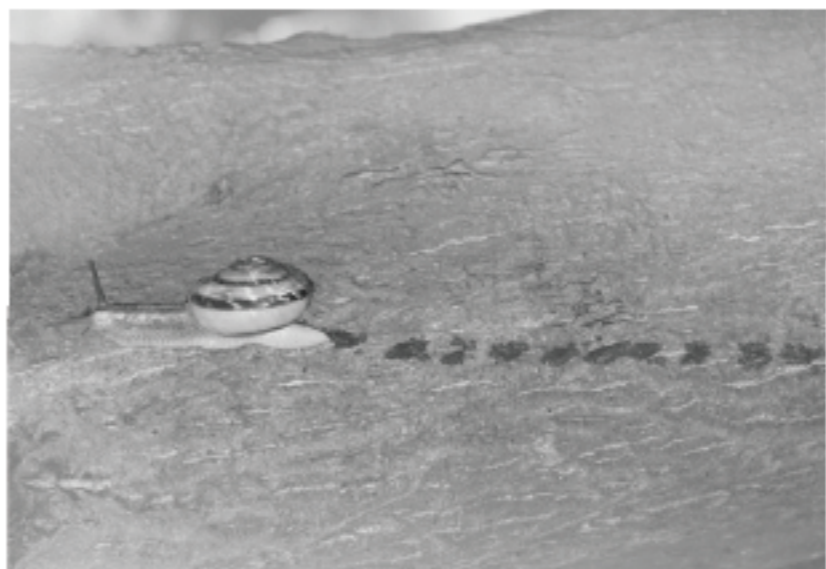
畑で体を動かして、作物を育てる楽しさや大変さを学ぶ体験教室です。9月から3月までの全7回参加可能な方が対象です。
日 時：9月9日、10月14日、11月11日、12月9日、1月13日、2月10日、3月10日
(いずれも日曜日 10:00~15:00)
対 象：小学生以上(小学生は保護者同伴) 定員：20名
参加費：3000円(全7回分、保険代・材料費)
要申込：8月9日から受付を開始します。

◆里山体験教室・特別編
池のかいほりをしよう!!

西久保湿地のため池の水を抜いて、かいほり(池の底の泥の取り除き)と生き物探しを行います。昔から里山で行われてきたかいほりを体験してみませんか?
日 時：9月15日(土) 10:00~12:30
対 象：小学生以上(小学生は保護者同伴) 定員：20名
参加費：100円(保険代)
要申込：8月15日から受付を開始します。

◆里山文化講座「今日はお月見！」

里山で古くから伝わる文化・習俗をテーマとしたプログラムです。9月は「お月見」の文化を体験をします。
日 時：9月30日(日) 10:00~14:30
対 象：小学生以上(小学生は保護者同伴) 定員：20名
参加費：300円(保険代・材料費)
要申込：8月30日から受付開始します。



このカタツムリはミスジマイマイです。歩いたあとが点々と残っています。どうやって歩いたらこんな跡が残るのでしょうか? とても不思議です。

みどり森では、7~9月までの間にいろいろな動植物を見ることが出来ます。
今回の中面の特集記事は、6月中旬~7月上旬にかけての梅雨時期に観察しやすい生き物「カタツムリ」です。
日頃、目にする機会が減ってきたカタツムリ、彼らはどのような生き物なのでしょうか? ぜひご覧になってください。
カタツムリ好きのスタッフ 青野 より

みどり森のおすすめスポット (7月~9月)

7月から9月にかけて、みどり森は、にぎやかな季節になっていきます。そんなみどり森のおすすめスポットをご紹介します。
★みどり森での動植物の採取は禁止です。来年以降も見られるように、観察のために捕まえた生き物も、元の場所に返してあげてくださいね。

博物館からのお知らせ

これからの時期、スズメバチやヘビが出てきますので十分に気を付けて歩いてください。もし、蜂の巣等を見つけたら、案内所までお知らせください。

◆緑の森博物館の利用ルール◆
緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生き物をむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

★公共交通機関をご利用の場合
小手指駅南口より西武バス「西武バス」または「緑の森」行き乗車、約25分
「緑の森」下車、徒歩約10分

【アクセス】
ご来館時のお問い合わせ：電話・バスをご利用ください

発行：さいたま緑の森博物館
発行年月：2012年7月
住所：〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1
TEL/FAX：04-2934-4396

開館時間 9:00~17:00 【入館無料】
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)
【公式HP】 <http://saitama-midorinomori.jp/>
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

雑木林広場
7月上旬から中旬にかけてオオトラノオの白色の花が開花します。
下旬には、オトギリソウがところどころに開花します。

多目的広場
8月末まで、コナラの樹液にいろいろな昆虫が集まってきます。

水鳥の池
7月上旬、池の土手にヤブカンゾウのオレンジ色の花が開花します。

大谷戸湿地
7月上旬から中旬にかけてチダケサシのピンク色お花が開花します。
9月中旬から下旬にかけてツリフネソウやミソソバなどが開花します。

西久保湿地
9月上旬から中旬にかけてヌマトラノオの白い花が開花します。
9月中旬から下旬にかけてツリフネソウやミソソバなどが開花します。
他にも、田んぼでは8月上旬に花が咲きます。その後も稲が成長して稲穂を見ることが出来ます。

みどり森のカタツムリに会いに行こう!!

新緑の季節が過ぎ梅雨がやってきました。梅雨時から夏の暑いジメジメした季節は、カタツムリを観察するのに最適な時期です！ぜひ皆さんも雨の日にカタツムリに会いに行ってみませんか？

～カタツムリ 体のヒミツ～



【殻】殻は卵から生まれた時から背負っていて、成長に合わせて大きくなっていきます。また、殻の中には内臓器官が入っています。

【後触覚】主に障害物などを感知します。

【前触覚】主ににおいを感知します。

【目】目はあまりよくなく、光の明暗くらいしかわからないといわれています。

【足】足は広く地面などに「ベタツ」と、張り付いています。歩き方は、足の後方から前方へ向かって進行波（しんこうは）を発生させながら移動します。

【口】カタツムリの口の中には歯舌（しぜつ）というやすりのような器官がありコケなどをこすげ取って食べています。

ウソ!? ホント!? ～

【その1】殻をとったらナメクジになる!?

【ウソ】殻の中には心臓や肺、肝臓など生きていくのに大切な器官がたくさん入っているため、殻がなくなってしまうと生きていけません。

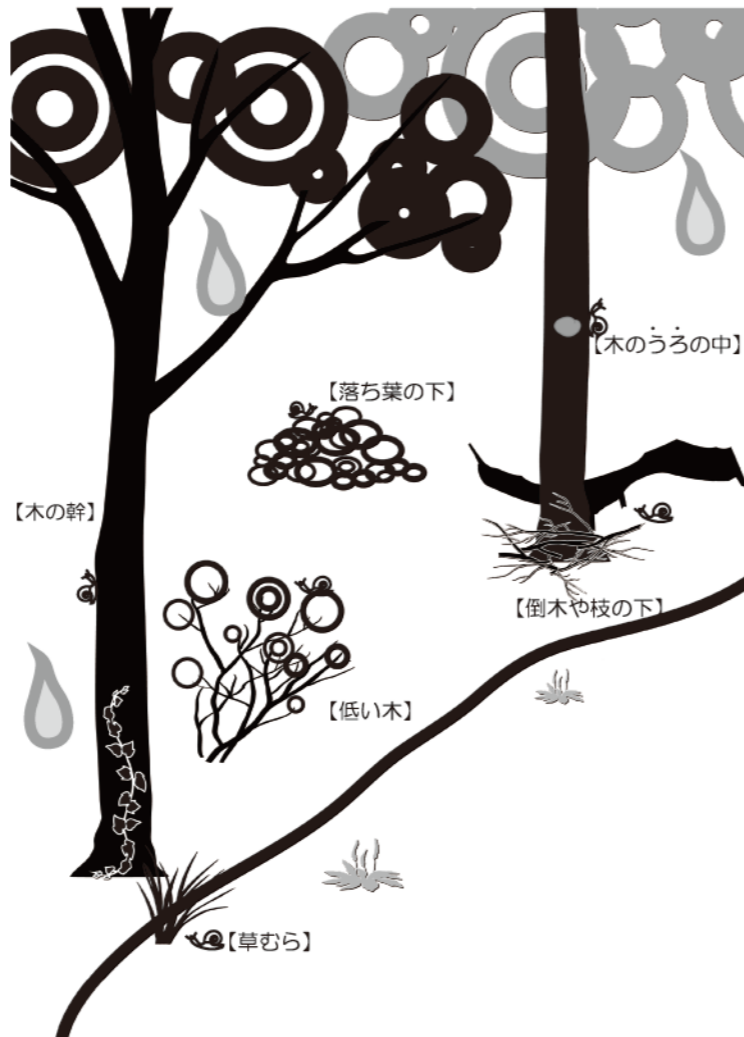
～カタツムリにたくさん会うには～

カタツムリを見つけると言ってもどこを探せばいいのでしょうか？

カタツムリは種類によって好きな環境が違いますので、いろいろなところを探すとたくさんの種類を見つけることができます。(右のイラスト参照)

【カタツムリを見つけるヒント】

- ・カタツムリはジメジメしたところが好きです。
- ・カタツムリはコケや腐りかけの植物質を食べます。
- ・雨の日は、木の幹や葉の表などを這っています。
- ・晴れの日は、葉の裏や倒木の下、落ち葉の下にいます。



～カタツムリのウソ!? ホント!? ～

【その2】アジサイが大好き!?

【ウソ】アジサイが好きではなく、カタツムリをよく目にする梅雨に開花している植物がアジサイなので、カタツムリがアジサイにいるイメージが付いたようです。

【その3】コンクリートを食べる!?

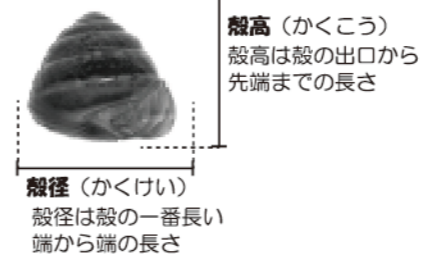
【ホント】コンクリートの壁などでカルシウムを補給するためにかじります。

～殻を見るのがポイント!!～

カタツムリは主に殻を見て種類を見分けます。まずは、大きさを知ることが大切です。

～殻の大きさの測り方～

殻高（かくこう）と殻径（かくけい）の2つを測ります。



～みどり森のカタツムリたち～

みどり森でみられるカタツムリを一部だけ紹介したいと思います。

このほかにも多くの種類が生息しています。ここに載っていないカタツムリもいるのでぜひ探してみてください。

<p>ヒダリマキマイマイ 【殻の大きさ】殻高 33mm 殻径 50mm 【いるところ】落ち葉の下、草むら 【特徴】みどり森で一番大きなカタツムリでよく見ることができる。</p> <p>実際の殻の大きさ</p>	<p>ミスジマイマイ 【殻の大きさ】殻高 22mm 殻径 45mm 【いるところ】木の幹、草むら 【特徴】おしゃれなカタツムリ。殻の黒い線はいろいろなパターンがある。</p> <p>実際の殻の大きさ</p>	<p>エンシマイマイ 【殻の大きさ】殻高 5mm 殻径 6～7.5mm 【いるところ】低い木、草むら 【特徴】小さいけれど、数が多いので探すときたくさん見つかるカタツムリ。晴れの日でも葉っぱの表で休んでいることが多い。</p> <p>実際の殻の大きさ</p>
<p>ニッポンマイマイ 【殻の大きさ】殻高 17mm 殻径 19mm 【いるところ】中ぐらいの木、低い木、草むら 【特徴】木の上が好きでカタツムリで、体がよくのびる。</p> <p>実際の殻の大きさ</p>	<p>オオコハクガイ 【殻の大きさ】殻高 2.6mm 殻径 6mm 【いるところ】倒木の下、落ち葉の中 【特徴】落ち葉の中にたくさんいる小さなカタツムリ。</p> <p>実際の殻の大きさ</p>	<p>ナミコギセル 【殻の大きさ】殻高 15mm 殻径 3～3.5mm 【いるところ】倒木の下、木のうろ 【特徴】長細くてかたいカタツムリ。種類によっては卵ではなく小さな貝を産む。</p> <p>実際の殻の大きさ</p>
<p>パツラマイマイ 【殻の大きさ】殻高 3.3mm 殻径 6.5mm 【いるところ】倒木の下、落ち葉の中 【特徴】殻の裏側のおへそが大きいカタツムリ。</p> <p>実際の殻の大きさ</p>	<p>オカチョウジガイ 【殻の大きさ】殻高 10mm 殻径 3.3mm 【いるところ】倒木の下、落ち葉の中 【特徴】黄色い体をしている細長く小さなカタツムリ。キセルガイとは巻き方が逆。</p> <p>実際の殻の大きさ</p>	<p>マルシタラガイ 【殻の大きさ】殻高 3.5mm 殻径 5.5mm 【いるところ】低い木、草むら 【特徴】頭の中に赤い色が見える不思議な小さなカタツムリ。</p> <p>実際の殻の大きさ</p>

～カタツムリや動植物を観察する時は～

- ・マムシやスズメバチが生息しているので、観察をするときは園路から外れないでください。
- ・来年以降も観察できるように、生き物や植物は持ち帰らずに観察してください。
- ・カタツムリを触ったら手を洗いましょう。